

名もない花

門倉 さとし 作詩
神野 和博 作曲

だれにも知られず 名もない花は
飛べない鳥と ながれる雲と
そらをみつめて 名もない花は
かぞえているのか 春がくるのを

だれにも語らず 名もない花は
はだかのままで 足おとだけを
どこにもいけず 名もない花は
待っていたのか 帰らぬ人を

いくさがはじまり 名もない花は
みつめていたのか 燃える街を
からだをやかれ 名もない花は
声もたてずに 焼かれるままに

いくさがおわり いまどこかで
だれにも知られず 名もない花は
だれにも語らず 名もない花は
待っているのか いのちを燃やし

- 1 だれにも知られず 名もない花は
飛べない鳥と ながれる雲と
そらをみつめて 名もない花は
かぞえているのか 春がくるのを
- 2 だれにも語らず 名もない花は
はだかのままで 足おとだけを
どこにもいけず 名もない花は
待っていたのか 帰らぬ人を
- 3 いくさがはじまり 名もない花は
みつめていたのか 燃える街を
からだをやかれ 名もない花は
声もたてずに 焼かれるままに
- 4 いくさがおわり いまどこかで
だれにも知られず 名もない花は
だれにも語らず 名もない花は
待っているのか いのちを燃やし